

■節電行動計画

事業所名	社会福祉法人 東北福祉会(全体)	責任者名	各施設長
------	---------------------	------	------

節電目標	昨年夏期ピーク比で△15～16%	節電実績	
------	------------------	------	--

区分	対策項目	実行 チェック
照 明	使用していないエリアや、日中不要な箇所は消灯を徹底する。 ～玄関ホール、ロビー、廊下、各ユニット(食堂・お風呂・トイレ等)の不要な照明	✓
	可能な限り天井照明を消灯し、スポット照明を利用する。	✓
	夜間帯や休憩時間の電灯休止時間(12:00～13:00等)を設ける。	✓
	夜間の照明管理の徹底をする。	✓
	事務室の照明を1/3～半分程度消灯する。	✓
	照明を間引きする。(利用者の生活エリア以外の照明、日当たりのよい場所等)	✓
	照明機器の定期清掃を行う。	✓
	従来型蛍光灯を、可能な範囲で高効率蛍光灯やLED照明に交換する。(従来型蛍光灯からHf蛍光灯または直管型LED照明に交換した場合、約40%の消費電力削減)	✓
空 調	エアコンの設定温度は28℃(厨房を除く)の設定とする。	✓
	日差しを遮るために、ブラインド、カーテン、遮熱フィルム、ひさし、すだれなどを活用する。	✓
	フィルターを定期的に清掃する(2週間に一度程度が目安)	✓
	各出入り口、搬入口の扉、サッシ、窓等を必ず閉め、冷気流出を防止する。	✓
	居室内での生活からフロアでの生活に重点を置き、一箇所での冷房に抑える。	✓
	日中の電力消費のピーク時間帯は居住エリアを限定して空調負荷を集中させる。	✓
	エアコンの稼働時間を輪番制にする。(エアコン使用輪番表の作成)	✓
	室内のCO ₂ 濃度の基準範囲内で、換気ファンの一定時間の停止、または間欠運転によって外気取り入れ量を調整する(外気導入による負荷を減らし冷房効率を上げるため)	✓
	使用していないエリアは空調を停止する(デイサービス利用者帰宅後は極力停止する、会議室・2階・相談室・和室等使用時間外等)	✓
	随時室温計を確認し、適切なON・OFF管理、温度調節、換気を行う。	✓
	居室、廊下、事務室等エリア毎に適切な温度設定を行う。	✓
	部屋ごとに適切な温度設定を行い、定期的に巡回する等の管理を実施する。	✓
	扇風機を活用する。	✓
	換気をする。(朝、昼、晩 必ず)	✓
給湯循環ポンプの流量を確認し、流量の削減を徹底する。	✓	
OA機器	PCの使用時間を限定する。使用時間以外は電源を落とす。	✓
	PCの待機電力を削減する。(外出時はoffにする、長時間使用しない場合はスタンバイ設定にする等を徹底)	✓
	PC電源管理は省電力モード設定とし、OA機器の管理を徹底する。	✓
	必要がない場合は窓や出入り口の開け放しをしない。	✓

区分	対策項目	実行 チェック
テレビ	明るさの設定を抑え、省エネモードにする。	✓
	鑑賞時間を限定する。 〈例〉朝6:30~9:00 昼:11:30~13:30 夜:17:00~21:00。時間外にはラジオを流す。 (防災情報の把握を兼ねる)	✓
	誰も見ていない場所での電源OFF。	✓
冷蔵庫	温度調整を中~弱にする。ドアの開閉を減らす。食材等の整理整頓をし、冷気をスムーズに回す。	✓
	調理機器、冷蔵庫の設定温度が必要な温度に対して、高すぎたり低すぎたりしないように確認する。	✓
洗濯、乾燥機	夜間に洗濯をする(夜間電気の使用)。少量の洗濯物はまとめてから洗う(夜間)。乾燥機は使用せず天日干しにする。	✓
エレベーター	複数台ある場合、日中は一部停止する。	✓
	緊急時以外使用しない/職員対象	✓
その他	待機電力を削減する。(夜間の電気ポット等、使用していないコンセントは抜く)	✓
	消費電力の大きい電気製品は平日の日中を避けて使う。	✓
	昼食・夕食の調理時間の柔軟化を検討する。	✓
	自動販売機の管理者に冷却停止時間の延長等の協力を求める。	✓
	不必要な残業はしない。ノー残業デイの実施。	✓
	季節・気温に合わせた服装にする。クールビズ対策の徹底。	✓
	部屋と外の環境の温度差が広がらないよう、温度、湿度調節を行う。	✓
	グリーンカーテンの導入、内水等季節感のある形で涼をとっていく。	✓
	水遊びなどの涼しくなる遊びを取り入れる。	✓
	デマンドコントロールシステムにより昨年夏ピーク比△16%設定とし、自動調整する。	✓
	デマンド装置はすでに導入しているが、可能な範囲でデマンド値の設定を変更する。	✓
節電啓発	施設全体の節電目標と具体策について、職員全体に周知徹底し、実施に向ける。	✓
	節電リーダーを選出し、具体的な取り組みを行う。	✓
	朝礼時に毎回節電のアナウンスをして意識付けを行う。	✓
	ピーク期間(7~9月平日の9~20時)には、一斉放送でより一層の節電を呼びかける。	✓
	管理部門の節電対策(エレベーターの一部停止等)	✓
	照明関係のスイッチには、節電シールを貼付し無駄な点灯や消し忘れ防止の意識付けを行う。	✓
	空調スイッチには、夏季・冬季の基本設定温度のシールを貼付し、温度管理の意識付けを行う。	✓